

全ての子どもたちの可能性を引き出す教育をめざして

明けましておめでとうございます。

新春を迎え、県民の皆様方に謹んで新年のお喜びを申し上げますとともに、平素から本県教育にお寄せいただいております温かい御支援、御協力に対しまして、心から感謝申し上げます。

さて、人口減少やAI、ビッグデータ、IoT等の先端技術が高度化して社会生活に取り入れられた「Society5.0時代」の到来、また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大など、社会の変化が加速度を増し、まさに、複雑で予測困難な時代を迎えています。

このような急激に変化する時代の中で、学校教育には、子どもたち一人ひとりが、自分の良さや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていく力を育成することが求められています。

このため、本県では、ICTを基盤とした先端技術を効果的に活用し、新たな価値を創造する力を育み、多様な学習が可能となるよう、国が整備する小・中学校に加え、県独自で、高等学校等においても、児童生徒1人1台のタブレットPCの導入を進めています。

本年は、これまでの学校現場での教育実践の蓄積とICT環境を組み合わせ、一人ひとりに応じた「個別最適な学び」を進めるとともに、海外や他の学校とつないで「協働的な学び」を発展させるなど、市町教委と連携しながら、全ての子どもたちの可能性を引き出す学びの実現に向けて取り組んでまいります。

また、生徒のニーズの多様化や人口減少に伴う学校の小規模化の進行等に対応するため、新しい時代に求められる学校像について検討し、広く県民の皆様の声もお聞きしながら、中・長期的かつ全県的な視点に立って、新たな「県立高校将来構想」を策定したいと考えています。

策定にあたっては、県全体のバランスを考慮した学校・学科の配置や、特色ある学校づくりについても検討を進めてまいります。

県教委としましては、学校・家庭・地域をはじめ、関係機関とも緊密に連携して、本県教育の一層の充実・発展に努め、未来を担う子どもたちの育成に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様方の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。